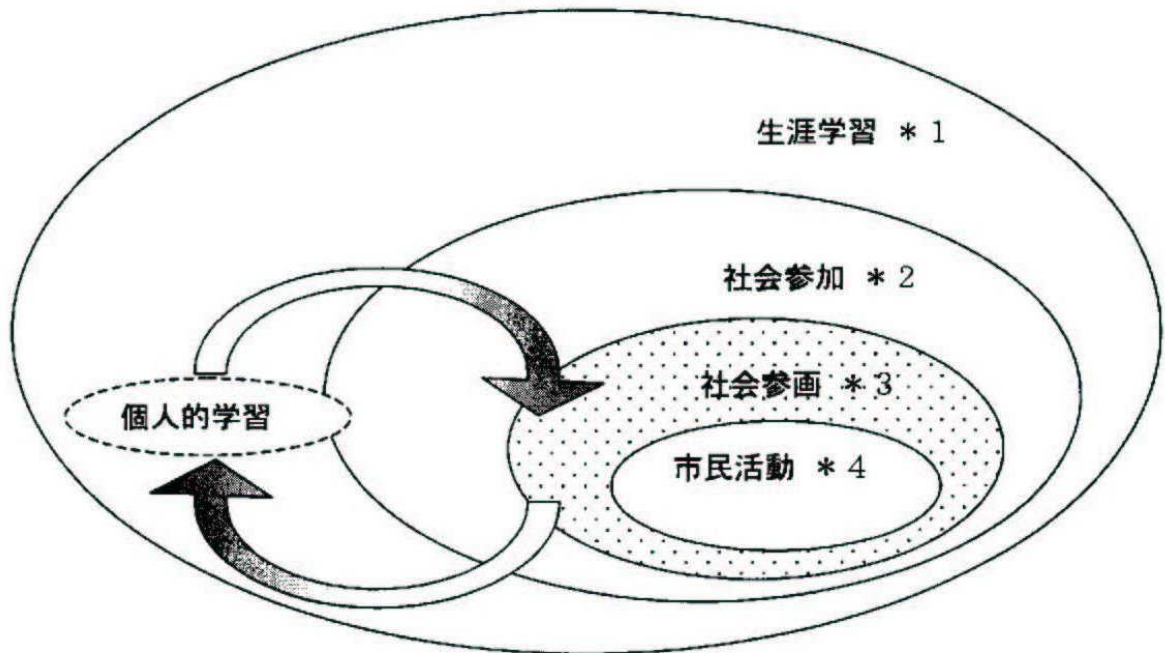


図2 生涯学習と社会参画の関係イメージ図



- * 1 生涯学習：学校や社会の中で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などの中でも行われるもの（中央教育審議会答申「生涯学習の基盤整備について」）。
- * 2 社会参加：地域・社会の様々な活動や団体に加わること。
- * 3 社会参画：市民が自律的に活動し、行政等と協働したり各種団体を組織するなどして、地域・社会に積極的に関わっていくこと。市民活動と異なり、コミュニティビジネスなどの営利活動も含まれる。
- * 4 市民活動：営利を目的とせず、自主的に行う、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動（宗教・政治・公益を害するおそれのあるものの活動を除く）。

例えば、個人的な学習が契機となって、グループや団体に所属し（社会参加）、さらには、学校・行政等との協働や各種団体を形成して、社会に積極的に関わっていくとする活動（社会参画）に発展していく場合があります、個人の学習活動が社会参画に発展していくことはしばしばみられる。（個人的学習から社会参画へ）

一方、市民活動団体やNPO、コミュニティビジネス事業などの活動自体が「学習の場」であり、また、そうした活動を通じて、参画している個人に新たな問題意識や学習への関心が生まれてくる。（社会参画から個人的学習へ）

横浜市教育委員会事務局生涯学習課(2001)「第6期横浜市生涯学習推進会議・意見具申 学びが生きる市民社会へ-多様な市民の社会参画を目指して-」

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakusyu/section/kaigi/no6gushin.html>)

(閲覧年月日:平成28年7月13日)